

ご卒業 おめでとうございます



校長 小杉 栄樹

大きな希望を胸に
輝く未来に向かって

この仲間とともに
旅立ちます

3月20日、砂山小学校 101 回目の卒業証書授与式が挙行されました。6年生 45 名が、6 年間の小学校課程を終え、砂山小学校を巣立ちました。ご卒業おめでとうございます。

17日には、1～4年生と6年生とのお別れ式を行いました。6年生への感謝と応援の気持ちがいっぱい詰まったとても素敵な式でした。



そして、本日の卒業式。保護者の皆様、5年生、教職員に見守られる中、6年間の思い出の詰まったよびかけと合唱「旅立ちの日に」。リーダーのバトンを受け継ぐ5年生のよびかけと合唱「明日へつなぐもの」。そして、参加者全員による「蛍の光」の斉唱。



卒業証書を受け取る6年生の顔には、「中学生になってもがんばるぞ!」という強い決意が感じられました。感動いっぱいの卒業式でした。

コロナ禍という大変な状況での3年間でしたが、6年生の子供たちは、学習活動はもちろん、清掃、委員会、クラブ、集会等々、どんな時も学校のリーダーとして、砂山小学校を引っ張ってくれました。6年生の子供たちの活躍が砂山小学校創立101年目のスタートの年に花を添えてくれました。とても心強かったです。

保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。子供たちの健やかな成長と安心、安全な生活のためにご支援ご協力をいただいたこと、心より感謝申し上げます。砂山小学校で学んだ誇りを胸に、中学校でもたくましく成長してほしいと願っています。



砂山小学校創立100周年記念

絆は永遠に
KIZUNA IS FOREVER

令和5年3月

創立100周年記念碑 ～絆は永遠に～

卒業式に合わせて、地域の皆様のご協力により、校庭に100周年記念碑が建立されました。

記念碑には、「絆は永遠に」と刻まれています。

卒業生の皆さんが、これから砂山小学校で学ぶ後輩たちに向けて伝えていきたい言葉として、考えてくれました。6年間共にがんばってきた友達との絆、大切に育ててくれた家族との絆、支えてくださった先生や地域の方々との絆。この言葉には、『絆』という一本の線が、永遠に切れることなく続いてほしい』という願いが込められています。

砂山小学校で学ぶ子供たち、それを見守る家族、先生、そして、地域の方々の「砂山・愛」は永遠に不変です。砂山小学校を中心にした「絆」がこれからもより強く、より長く続いていくことを心から願います。



「動機善なりや」 ～稲盛和夫～

昨年8月90歳という天寿を全うされた、世界的企業「京セラ」の創業者稲盛和夫さんの言葉です。稲盛さんは「経営の神様」と呼ばれ、「人の心が経営の成功を決める」という信念のもと、携帯電話会社auや日本航空の経営にも力を注がれた世界的な経営者です。

稲盛さんは、何かの行動を起こそうとするときは、常に「動機善なりや」と自分に問い続けると話しています。つまり、その思いは、自分勝手なものではないだろうか、人のために役立つものなのだろうか、周りの人を幸せにできるのだろうか。人を傷つけたり悲しませたりしないだろうか。自分の思いが正しいかどうか常に考え続けていたと話されています。

「動機善なりや」

「善なる思いがあれば、
君の思いは必ず実現する」

「大きな夢」を持ち、その夢に向かって、「挑戦」し、「努力」を続けてください。その努力の向こう側には、きっと努力した人にしかわからない「すばらしい世界」が待っています。

この3年間、コロナ禍という大きな壁に、世界中の人々が力を合わせて立ち向かってきました。ようやく明るい光も見え始めています。この困難を乗り越えた先には、きっと明るい未来が待っていると信じます。卒業生のみなさんの未来に幸多かれと、心から願っています。

